

世界で最初に飢えるのは日本

—食の安全保障をどう守るか—

講師 鈴木 宣弘 先生

(東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授)



講師プロフィール 農林水産省、九州大学農学部助教授、九州大学大学院農学研究院教授などを経て、2006年9月から東京大学大学院農学生命科学研究科教授、2024年4月から現職。主な著書に『農業消滅』(平凡社新書、2021年)などがある。

日本の食料自給率は種や肥料の自給率の低さも考慮すると38%どころか10%あるかないか、海外からの物流が停止したら世界で最も餓死者が出る国との試算もある。国内生産を拡大したいが、逆に国内農業は生産コスト高でも農産物の価格が上がらず、廃業が激増しているが、国は支援しない。今こそ、協同組合、市民組織、自治体の政治・行政、医療界、心ある企業などが連携して、地域の種を守り、生産から消費までを一体化し、地域循環的に農と食を支えるローカル自給圏の構築をめざし、地域からのうねりを起こそう。

日時:11月23日(土・祝) 15時30分-17時30分

開催形式:会場・Zoom 併用 定員:会場 50名

場所:ホテルマイステイズ松山 (松山市大手町1-10-10)

対象:市民公開講座 どなた様もご参加いただけます **参加費無料**

----- 参加申込書 切り取らずに送信してください -----

医療機関		参加方法	現地・Zoom ミーティング
お名前		TEL	
E-mail	(Zoom 参加の方はご記入ください)		

FAX→089-989-2711 申込締切:11/20

主催 愛媛県保険医協会 TEL089-989-2511

